

朝日町で人・農地プラン実質化に向けた 夢を語る座談会開催

～地域に開かれた農業を目指す～



写真撮影時のみマスクを外していただいております。

発行者：(一社)山形県農業会議
やまがた農業ファシリテーター研究会
(愛称:エンジョイ農学部)
発行日:令和 3年 10月 13日

朝日町農林振興課・農業委員会では山形県農業会議の伴走支援を受け、令和3年9月16日(木)に、「北部地区農業の未来を考え楽しく夢を語る座談会」を気楽に・楽しく・中身濃くを合言葉に開催しました。

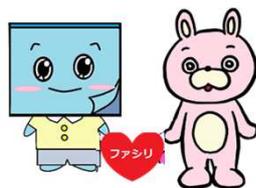
この座談会は、同地区の農業者が人と農地の課題を話し合う前に、夢や思いを語り合う場として開催され、農業委員・推進委員・若手や女性農業者など24名が参加しました。

座談会では、進行役の農業ファシリテーター(農業会議職員)と一緒に、農業ファシリテーター養成研修会に参加し、資格を取得した女性委員2名も話し合いを盛り上げました。

まずは、個人アイデアだし、その後
グループでアイデアを3つに絞ります！



↑山形県農業会議の農業ファシリテーターが進行役を務めました



↑会長からのご挨拶

テーマは
「北部地区に住んでいる人が笑顔あふれる
楽しい農業を実現するアイデアを出し合おう！」



～参加者全員が発言できる・明るく前向きな座談会です～

農業ファシリテーターのスキルを使った★新しい座談会のカタチ

グループ全員でアイデアをまとめ発表を行いました！



どのアイデアに入れようかな？全員で投票！
全員で考えて決めた「夢実現型」の意見！



こんなにたくさんの方が、一緒になって真剣に北部地区の将来のことを考えて話し合いを行ったという事実がとても素晴らしいことだと思う。地域を思う人がいることが大変うれしい。
(白田さん)

参加者の講評



いつもの座談会と違ったが、意見を言うことが出来てよかった。とても楽しく参加させていただいた。
(遠藤さん)



山形・朝日町で夢を語る座談会
【山形】朝日町農林振興課と農業委員会は9月16日、県農業会議の伴走支援による「北部地区農業の未

来を考え楽しく夢を語る座談会」を開いた。同地区の農業者が人と農地の課題を話し合う前に、夢や思いを語り合う場として開催し、農業委員や農地利用最適化推進委員、若手や女性の農業者など24人が参加。住民の笑顔があふれる農泊先進地区を楽しくめざそうなどと、夢のあるアイデアが数多く出された。同町と同委員会、農業会議では地域の話し合いを基本とした農村づくりや、人・農地プランの実質化と実行を進めていく。

全国農業新聞 2021/10/1号2面掲載



最後はじゃんけん大会！



朝日町では、座談会で出された、「遊休農地や農閑期を利用したイベント～冬のスノーモービル・春の田の泥んこ体験～」「古い明鏡橋で軽トラック農産物市(通行止めにして歩行者天国)+秋葉亭」等の「夢のアイデア」を地域の話し合いを基本とした農村づくりや、今後進めていく、「人・農地プランの実質化や実行」に活かしていく予定です。

～農業ファシリテーターとは「地域に開かれた農業の推進を担う人」のこと～

農業の課題は農業者だけの解決は難しく、また、地域の課題も地域だけでは解決が難しくなっています。「農業者」と「地域住民」が一緒になって、「課題」について話し合っていくために、ファシリテーターの「対話のスキル」だけでなく、「まちづくりのスキル」も身に付けた人のことを「農業ファシリテーター」といいます。山形県では、現在17名が、農業ファシリテーターの資格を取得しています。



やまがたの人・農地プラン「実質化」そして「実行」へ・・・

山形県農業会議では、「やまがた地域の農地を活かし、担い手を応援する活動～れいわネクストアクション～」で、農業ファシリテーターの養成等、農業委員会の活動を伴走支援しています！

詳しくは山形県農業会議HPをご覧ください <http://www.yca.or.jp/>

